

ご挨拶

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

会長 播磨 崇

ITコーディネータはIT経営を実現するプロフェッショナルです

イノベーションへの期待

～各界のイノベーションへの期待と要請～

◆産業構造審議会：経営とITの高度な融合を図る次世代高度IT人材の養成の必要性の提起

⇒IT融合人材検討連絡会を設置し産官学で検討

- ①「IT融合」とはITとビジネスの融合により、顧客や社会に新たな価値を産み出し、改善から革新的な変革までを含む幅広いイノベーションを創出する事
- ②「IT融合人材」を「IT融合により価値を創造し、イノベーションを創出する人材

◆日本再興戦略 改訂2014

～日本の稼ぐ力を取り戻す～

- ①企業が変わる・・・金融機関による支援機能強化etc
- ②国を変える・・・イノベーションの推進と社会的課題解決へのロボット革命etc

◆27年度概算要求より

- 経済産業省： ①イノベーションによる「稼ぐ力」の強化（中堅・中小企業による共同研究（オープンイノベーション）の取り組み支援）
 ②中小企業・小規模事業者のイノベーションの推進 124億円新規
- 観光庁： ①広域観光周遊ルート形成促進事業 14億円
- 総務省： ①新たなイノベーションを創出するICT戦略の推進
 ・ICTによる地域成長への貢献 39億円
 ・ビッグデータ・オープンデータの活用 31億円（内ビッグデータ・オープンデータの利活用推進事業 10億円）
- 農林水産省 ①6次産業化支援対策 42億円 他

中小企業の取組み

～中小企業においてもイノベーションの取組み事例は出てきている～

- ◆ハッピー殿（京都府）（2013年度中小企業IT経営力大賞受賞企業）
 - ・クリーニング業からケアメンテ業態の開拓
 - ・ITを駆使した徹底的な品質管理、新しい衣類洗浄法の開発
 - ・自己完結型システムの開発・導入

- ◆がんこフードサービス殿（大阪府）（日本の「稼ぐ力」創出研究会 第6回より）
 - ・産総研と協同で従業員にセンサーを付け、導線を見える化・分析
 - ・接客担当者の客室滞在時間が4割に留まっていることが判明
 - ・導線分析を基に、店舗オペレーションを改善
 - ・客室滞在時間が増え、売上が4割増へ

⇒いずれの例も、経営危機を経営者のリーダーシップで社員が一丸となり
乗り越えた事例

⇒中小企業ならではの創造と工夫に富んだ事例は数多出てきている

～ITCはこれからの課題にどう応えていくか～

企業の抱える課題

- ◆イノベーションを起こすための認識・理解が不足している
- ◆イノベーションをどのように進めたらよいか分からない
- ◆短兵急に成果を求める：特に経営者の意識
- ◆イノベーションに関わる人材の育成が充分でない

◆IT経営に加えてイノベーション経営の推進ノウハウを獲得すること

⇒イノベーションプロセスガイドライン（IPGL）の提供

⇒実践力を鍛える学習の場の提供

イノベーションを始めるにあたっての3カ条

- 徹底的にお客様の立場に立って考えること
- 過去にとらわれず、白紙思考で考えること
- そして、「自分はすでに『顧客思考』『白紙思考』を持っている」と思い込まないこと

観光庁 観光産業イノベーション推進ガイドより

まずは、「Sma I I Win」で進めてみよう！



**ITコーディネータはIT経営を実現する
プロフェッショナルです**